

ふるさと東総

令和2年3月1日発行 No.19

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ……2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要 ……………2
- ごみ処理広域化推進事業……………3～4
- 銚子連絡道路整備促進事業……………5
- 東総地区中学生海外派遣研修事業 ……………6
- その他の主な事業 ……………6



【中学生海外派遣研修事業 交流校であるセコラ・インドネシア・シンガプーラにて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市ハの612-1 東総振興センター内
電話:0479-62-3305 FAX:0479-62-3302
ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>

はじめに ～広域ごみ処理施設の完成に向けて～

「令和」という新しい時代が幕を開けた昨年は、皇位継承に伴う儀式や行事が催され、日本中が祝賀ムードに包まれました。

一方で、相次ぐ台風の襲来により、東日本の広範囲で甚大な被害がありました。

東総地域においても、長期間の停電や断水、住宅の損壊等の被害が多く発生しました。被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。

さて、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

1964年の東京大会から56年ぶりに自国開催される世界最大のスポーツの祭典に日本中が大いに盛り上がるのが期待されます。

しかし、社会情勢に目を転じると、着実に進む人口減少や少子高齢化など、将来の私たちの生活には深刻な問題も数多くあります。

このような状況の中、地方の役割は大変重要であり、地域の特性を生かした地場産業の育成など、地域の自主性と自立性を高め安心して暮らせる地域をつくることが重要であります。

東総地域においても、銚子連絡道路をはじめとする道路網や広域ごみ処理施設などの住環境整備、更には医療・福祉施策など広域的な行政サービスの充実が望まれております。

特に当組合がこれまで取り組んでまいりました「ごみ処理広域化推進事業」においては、地元地域の皆さまをはじめ、関係者のご理解とご協力により、広域ごみ処理施設と広域最終処分場の両施設の建設工事が令和3年4月の稼働に向け着実に進んでおります。今後も、圏域構成市と連携し、圏域住民の皆さまと一体となり事業を推進してまいります。

引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東総地区広域市町村圏事務組合管理者 (旭市長) 明智 忠直

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

○事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：316.16km²

圏域人口：168,262人

銚子市 面積：84.19km² 人口：64,415人

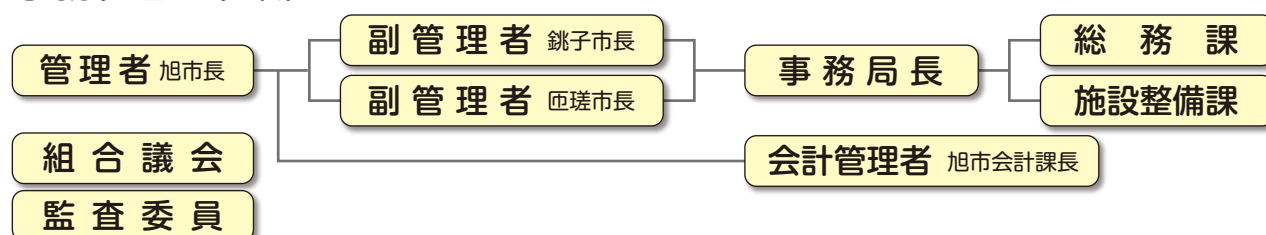
旭市 面積：130.45km² 人口：66,586人

匝瑳市 面積：101.52km² 人口：37,261人

【平成27年国勢調査より】



○事務組合の組織

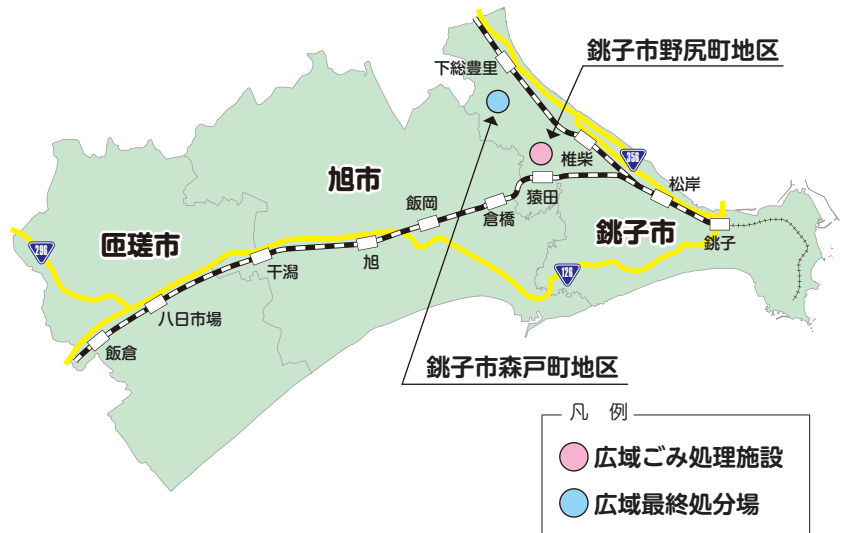


広域ごみ処理施設と最終処分場の 建設工事を進めています

施設建設計画地

組合で取り組んでいるごみ処理広域化推進事業において、令和3年4月の施設稼働を目標に、広域ごみ処理施設（銚子市野尻町地区）と広域最終処分場（銚子市森戸町地区）の建設工事をそれぞれ進めています。

また、施設稼働と同時に、銚子市、旭市、匝瑳市のごみの分別方法や処理手数料などの統一に向けた検討を現在行っております。今後、方針が決まりしだい、皆様にお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いします。

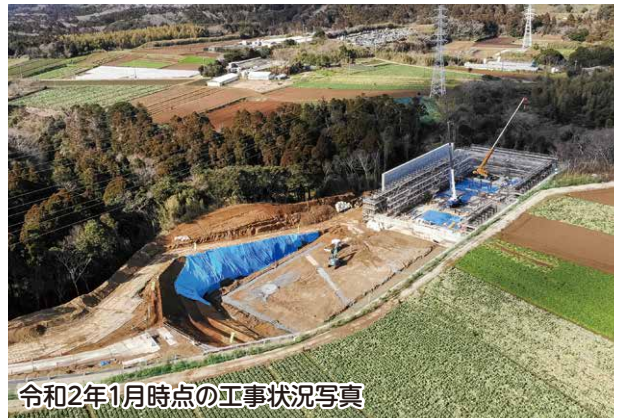


工事の進捗状況

● 広域ごみ処理施設



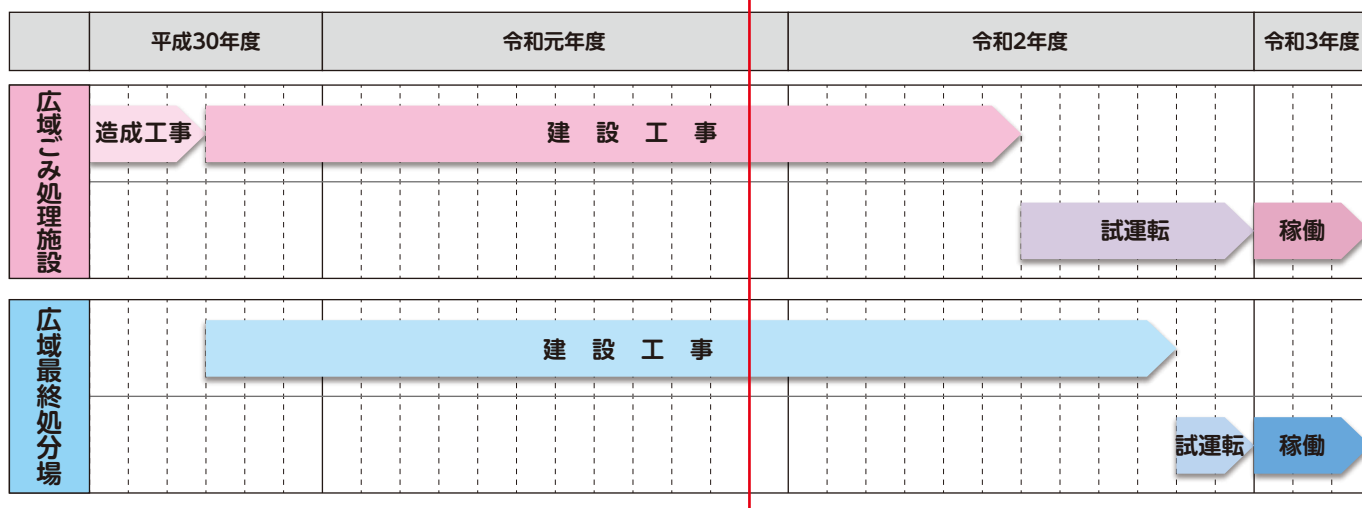
● 広域最終処分場



❖ 建設工事スケジュール

両施設ともに、平成30年度に着工し、現在、広域ごみ処理施設はプラント設備などを、広域最終処分場は埋立地となる貯留構造物などの工事を進めているところです。

令和2年3月1日現在



❖ 広域ごみ処理に関するQ&A

❏ 銚子市、旭市、匝瑳市にある既存のごみ処理施設は廃止するのでしょうか？

❖ 3市の既存ごみ処理施設については各地域のごみを受け入れ、大型のごみ収集車両に積み替えるための中継施設としての活用を検討しています。



❏ ごみの分別方法やごみ袋の代金は変わりますか？

❖ ごみの分別方法や指定ごみ袋の代金などのごみ処理手数料については、3市においてルールを統一することとし、協議を進めています。



❏ 自宅の大掃除などによる多量ごみや粗大ごみは、ごみ処理施設へ直接持ち込むことはできますか？

❖ 新たな広域ごみ処理施設では、ごみステーションに出すことができない多量ごみや粗大ごみを受け入れます。また、各市に設置予定の中継施設においても同様に受け入れる予定です。

銚子連絡道路整備促進事業

地区大会

令和元年5月17日、銚子市市民センターにおいて銚子連絡道路整備促進地区大会を開催しました。

国・県・沿線市町関係者等大勢の方々の出席のなか、大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「海と緑の豊かな自然環境から育まれる新鮮で安心安全な農水産物を首都圏へいち早く供給するための輸送手段として、また、地域住民が安心して豊かに暮らせる社会を確立するためにも強靱で安全な、そして多様な道路網の整備促進が不可欠です。」と来場者に訴えました。



▲あいさつする明智忠直会長



▲要望書を千葉県副知事(右)へ手渡す明智会長(左)

要望活動

銚子連絡道路整備促進地区大会での決議をふまえて、令和元年11月28日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である林幹雄衆議院議員の紹介で、衆・参国會議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。



▲要望書を山田国土交通省技監(右から3番目)へ手渡す



▲山田国土交通省技監に要望内容を説明する

東総地区中学生海外派遣研修事業

圏域内中学2年生29名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修』が、令和元年7月23日から27日（4泊5日）にシンガポールにおいて実施されました。

この研修では、シンガポールでの班別自主研修や現地学校の「セコラ・インドネシア・シンガプーラ」を訪れての交流会、積極的な英会話の実践をテーマとした研修を行いました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動計画に沿ってシンガポールの街を散策しました。各班とも団員が協力し合い、これまで学習した英会話に身振り手振りを加えながら、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

現地学校との交流会では、交流の証として記念品の交換を行いました。次に、現地校生徒からバンド演奏による歌を披露いただきました。当研修団は、「ダンス」、「剣道」、「空手」、「大縄跳び」のパフォーマンスを披露しました。その後、団員1人に現地校の生徒2名が校内の案内をしてくださいました。

団員たちは、英語での会話に戸惑いながらも、校舎の造りや文化の違いに驚いていました。短い時間でしたが、異国の友達と英語を使って交流できたことは貴重な体験となりました。

今回の研修では、多民族国家であるシンガポールで、公用語である英語を通して、互いの文化・生活・宗教を理解し尊重しながら生活している様子を肌で実感することができました。

この経験をこれからの学校生活や将来の夢に向かって活かして欲しいと願っています。



▲班別自主研修
ガーデنز・バイ・ザ・ベイにて



▲交流会
大縄跳びの様子



▲交流会
現地校生徒と一緒にダンス



▲交流会
学校案内を受ける

その他の主な事業

職員採用試験合同実施事業

- 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減等を図ります。
- 実施日：令和元年9月22日(日)
- 試験会場：銚子市立銚子高等学校
- 参加団体：6団体（銚子市、旭市、匝瑳市、東総衛生組合、東総広域水道企業団、八咫水道企業団）
- 試験職種：10職種（一般行政職、技術職、保育士職、消防職等）
- 応募者数：228人
- 受験者数：195人

職員共同研修事業

- 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

〈主な研修〉

- ・新任職員研修：新規採用職員
- ・初級職員研修：在職期間4年以上の職員に対する研修
- ・中級職員研修：在職期間10年以上の職員に対する研修
- ・監督者研修：係長又は同等の職にある職員に対する研修

- 修了者：計246名



▲研修状況